

一月往ぬる二月逃げる三月去る

一月(いちげつ)往(い)ぬる、二月(にげつ)逃(に)げる、三月(さんげつ)去(さ)る、という言葉が示す通り、3学期はあっという間に過ぎ去ってしまいます。しかしながら、子どもたちの学習及び心身両面における成長を確かめるとても重要な時期でもあります。

学習面では、学年の学習内容を学び終えて、忘れてしまっているところがないかをチェックし、きちんと頭に入れて次の学年に上がる最終段階です。今の学年の学習内容をしっかり身に付けるために繰り返し、繰り返し学び直し、追い込む時です。これを徹底しないと学んだことがすぐにはがれ落ちてしまいます。

心身の面においても、毎日見ていると余り変化のないわが子でも、4月当初と比べるとずいぶん変化、成長しているものです。親子で成長を確かめ合い、良くなったところは認め、一緒に喜んであげてほしいと願っております。もし、目に見えるような結果や成果が表れていなくても“がんばっている”ことは、大いにほめ、言葉をかけてあげることが大切です。これこそ、子どもを伸ばす大きなポイントだと思います。

子どもは、良い方向に動き出すと、一段と変化します。しかし、学年が上がるほど、本人が自主的に努力しようとする真摯な姿勢がなければ、せっかく持っている力も十分発揮されません。「がんばり続けること、努力し続けることが大切だよ」と、しっかり声をかけてあげることが大切です。

学校も子どもたちに学力をつけるために精一杯努力します。朝、家を出る時には、「勉強がんばってきなさい。先生の話、しっかり聞くんだよ。」と、声をかけていただければありがたいです。それだけでも、子どもの意識は高まります。よろしくお願いします



埋設保管土壌等搬出作業の現況について(お知らせ)

学校敷地内の除染等で発生し、埋設されていた除去土壌を仮置き場へ搬出する作業が進められていることは、先月の学校便りでお知らせしたところです。当初、3月頃まで行われる予定でしたが、順調に作業が進み、2月中旬には完了する見込みであると工事担当者の方より報告がありました。

埋設保管土壌の仮置き場への移送は1月7日に、その後の新しい土壌の埋め戻し作業も既に終了しているとのことです。現在は、工事現場に敷いていた鉄板の撤去及び囲いの解体作業を進めていることから、工事車両の出入りも続いている状況でございますので、引き続き、子どもたちの事故防止には細心の注意を払っていく所存でございます。

尚、空間線量につきまして、埋設保管土壌移設作業が行われている間は毎日、それ以降は1週間に一回、校庭の5箇所の地点で測定しておりましたが、大きな変動がなかったことを申し添えます。

本校の校庭は、埋設されていた暗渠管のおかげで非常に水はけのよいコンディションを保つことができていました。この工事で一旦取り出された暗渠管も、しっかりと現状復旧していただきました。

